

未来を開く

長井市立長井北中学校 No59 令和4年11月25日

学校研究発表会開催！

11月22日(火)本校を会場に、長井市内の先生方が集まり授業参観と研究協議会をとおして、学力向上について話し合った。

一人一人に確かな学力を育むことは学校の責務であり、「学力向上に向けた授業づくり」は長井市内の小中学校において、共通課題となっています。

そこで、今年は長井北中学校の授業をとおして、それぞれの教科に見合った学力をつける授業とは、どんな授業なのか、どうすれば一人一人に学力をつけることができるのかを検討しました。



令和4年度 長井市学校教育研修所

学校研究発表会

研究主題

一人一人の確かな学びと豊かな心の育成

～教科特有の見方・考え方を働かせた授業づくりをとおして～



令和4年11月22日(火)
長井市立長井北中学校

授業を見ていただいた、学級、教科、指導者そして授業内容は以下のとおりです。

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| ◆1年1組 理科◆ | 鈴木 美志 教諭
「光の世界」 |
| ◆1年2組 数学科◆ | 岡村佐由美 教諭
「データの活用」 |
| ◆1年3組 国語科◆ | 歌丸 詩織 教諭
「「不便」の価値を見つめ直す」 |
| ◆2年2組 英語科◆ | 早川伊智郎 教諭
「Unit5 Universal Design」 |
| ◆2年3組 保健体育科◆ | 佐原 満 教諭
「器械体操「マット運動」」 |
| ◆3年1組 道徳◆ | 須田 裕美 教諭
「命の花プロジェクト」 |
| ◆3年2組 社会科◆ | 佐藤 菜月 教諭
「地方自治と私たち」 |

理科授業風景

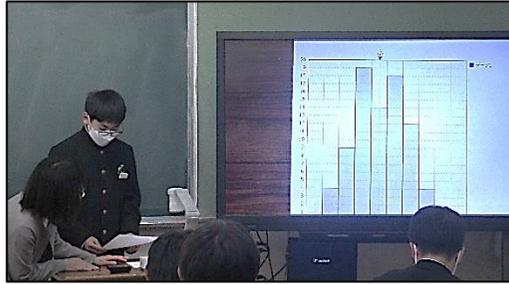


授業は、「全身を映すには、どのくらいの長さの鏡が必要だろうか」という学習課題でした。そこで、鏡に映る班員の全身長を測定し、身長のおよそ半分の大きさがあれば全身を映すことができることを観察・実験で確かめました。

次に、光の反射の性質を用いて、なぜそうなるのか説明する、という内容でした。

「全身を映すには、身長と同じ大きさの鏡が必要だと思っていたけど、意外だった!」という声が上がっていました。

数学の授業風景



自分の家庭学習時間が長い方かどうかを、収集したデータをもとに、代表値やヒストグラムなどを使って分析し、根拠を明らかにして説明する勉強でした。

情報化社会においては、データを用いて問題を解決できる

力が求められます。今回の授業でも、家庭学習時間の長短の良しあしではなく、長短を判断する根拠が大事であることを勉強しました。

国語の授業風景

「昼めし旅」の取材が長井市であり、地元商品が紹介されました。その内容を、長井市の人たちに、内容が伝わりしかも興味を引くような見出しを考えるとという内容でした。

そこで、新聞の見出しの特徴として勉強したことを活用し、グループで考えた見出しを紹介するという学習活動でした。



英語の授業風景



理解するという内容でした。

ALT (アシスタント・ラングエッジ・ティーチャー) からユニバーサルデザイン (全ての人にとって暮らしやすい社会) の製品について説明を聞きその特徴や良さについて班員に伝える、という学習でした。4人のALTが、グループに分かれて出身地の紹介をしてくださいました。聞く・話す・文法を用いて表現することに加え、文化を

保健体育の授業風景



自分ができる・できそうな技(マット運動)で連続技をする授業でした。一人一人が自分のめあてを持ち何度も練習していました。また、ICTを利用しながらお互いに技のポイントなどをアドバイスし合う場面も見られ、運動だけでなく、考え表現する学び合いが見られました。

道徳の授業風景

ペットを動物愛護センターに持ち込み、殺処分する事実を知った農業高校生が立ち上げた「いのちの花プロジェクト」。

その活動をとおり「いのち」に対する責任ある行動について考える、という授業でした。



社会の授業風景



であり、民主主義と政治参加に関わろうとする姿勢が育まれていました。

長井市総合政策課の方から、長井市第五次総合計画と施策についてお聞きし、「長井市魅力UP大作戦—子育て世代が住みたくなる魅力あふれるまちにするために—」を考えました。

そして、具体策を検討し、提言する授業でした。授業をとおりてまちづくりに関わる取り組み